

「研究紀要」発刊に寄せて

山梨県総合教育センター
所長 篠原 健

令和4年度山梨県総合教育センター「研究紀要」が発刊の運びとなりました。

学校現場においては、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業づくりや、指導と評価の一体化、全国学力・学習状況調査等を踏まえた授業改善、さらにはGIGAスクール構想の具現化、子どもたちの自己肯定感を高める学級づくり等、対応すべき課題は多岐にわたります。

本センターは「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、教員の資質向上、学校教育における課題解決に向け、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関わる業務を推進しております。

研究分野においては、今年度「新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方～」という研究テーマを掲げ、学校現場が抱える様々な教育課題を解決するために、各研究推進校が行っている校内研究をセンターが支援し、協同で研究を進めるという形で取り組んでまいりました。具体的には「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「教育相談」「特別支援教育」「教育支援」の五つの研究領域において、研究推進校七校の協力のもと、七つの研究を進めてまいりました。各研究内容の詳細につきましては、各頁を御覧いただきたいと存じます。

この研究紀要が十分に活用され、研究推進校とセンターとの協同の研究の成果が、県下の多くの先生方に共有され、県内各学校の教育がさらに充実していくことを願います。

結びに、コロナ禍においてさまざまな対応に追われるなか、校内研究を推進するとともに御協力いただきました研究推進校の皆様、専門的立場から御指導をいただきました山梨大学の先生方をはじめとする関係機関の皆様に改めまして御礼を申し上げます。